

# ふるさとCo-LEADプログラム事例集

経済産業省委託「令和3年度戦略的基盤技術高度化・連携支援事業  
(高度デジタル人材による地域中小企業デジタル化支援可能性調査)」

令和4年3月



# 目次

## 1. 「ふるさとCo-LEADプログラム」の背景

---

- 1-1. デジタル化に係る地域と都市間のギャップ P4
- 1-2. 兼業・副業による地域中小企業支援ニーズの高まり P5
- 1-3. 関係人口による地域中小企業のデジタル化支援の意義 P6

## 2. 「ふるさとCo-LEADプログラムの」概要

---

- 2-1. 「ふるさとCo-LEADプログラム」の実施体制 P8
- 2-2. 「ふるさとCo-LEADプログラム」の全体像 P9
- 2-3. 「ふるさとCo-LEADプログラム」の実施スケジュール P10

## 3. 「ふるさとCo-LEADプログラム」の実施内容

---

- 3-1. 実証フィールド選定基準 P12
- 3-2. 実証フィールドごとの高度デジタル人材への期待と役割の設定 P13
- 3-3. 参加者選定基準 P14
- 3-4. ミートアップイベントの開催概要 P15
- 3-5. ミートアップイベントのプログラム内容 P16

# 目次

## 3. 「ふるさとCo-LEADプログラム」の実施内容

---

3-6.ミートアップイベントの結果	P17
3-7.地域中小企業の募集	P19
3-8.フィールドワークツアーの概要	P22
3-9.フィールドワークツアーのプログラム内容	P23
3-10.フィールドワークツアーの結果	P26
3-11.中間報告会の開催	P27
3-12.中間報告会のプログラム	P28
3-13.最終報告会の開催	P29
3-14.最終報告会の発表内容	P30
3-15.「ふるさとCo-LEADプログラム」実施結果	P33

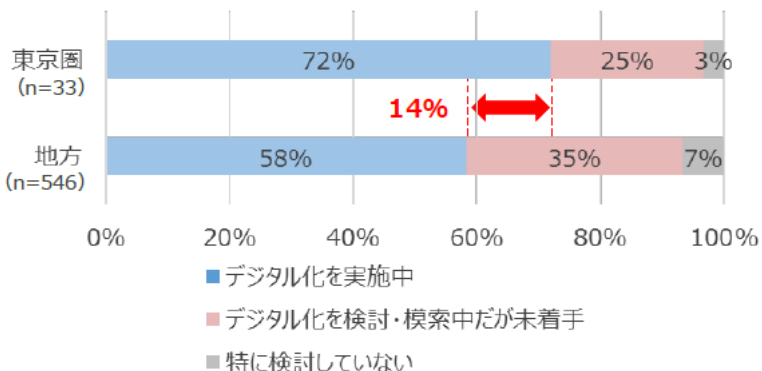
# 1.「ふるさとCo-LEADプログラム」の背景

# 1-1. デジタル化に係る地域と都市間のギャップ

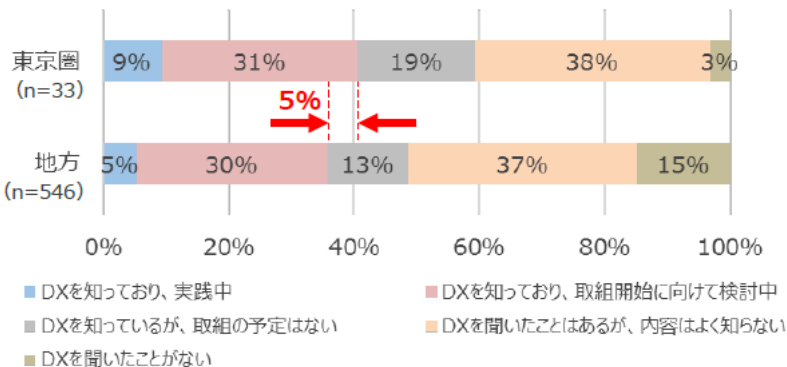
地域中小企業におけるデジタル化の進展およびDXの認知度は都市圏の中小企業と比較すると、低いのが現状です。また、デジタル化を推進するデジタル人材は、大都市圏、特に首都圏に集中しており、問題化しづらい構造的な課題があります。

## デジタル化に関する都市間ギャップの現状

### ■ デジタル化の状況について (製造業 中小企業)



### ■ DXの認知度 (製造業 中小企業)

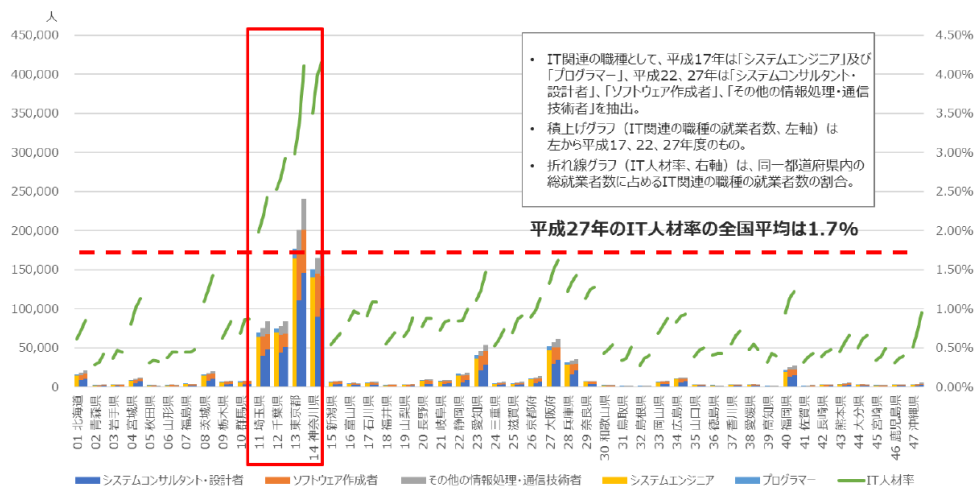


出典：経済産業省「令和2年度中小企業のデジタル化に関する調査に係る委託事業報告書」

## デジタル人材の都道府県別分布

### IT専門人材数の推移 (都道府県別)

- IT専門人材は1都3県で特に多い。
- 多くの県で増加傾向にあるが、1都3県は大幅に増加。人材が多い地域は更に増加する傾向。



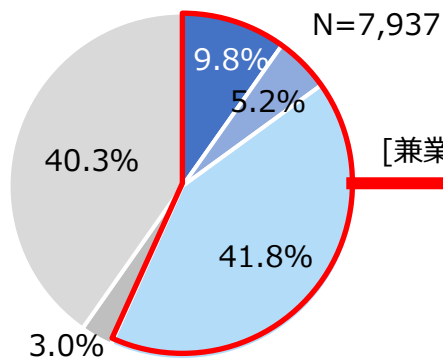
(資料) (株)日本総合研究所 国勢調査 (平成17、22、27年) を基に作成

出典：経済産業省「令和2年度中小企業のデジタル化に関する調査に係る委託事業報告書」

## 1-2.兼業・副業による地域中小企業支援ニーズの高まり

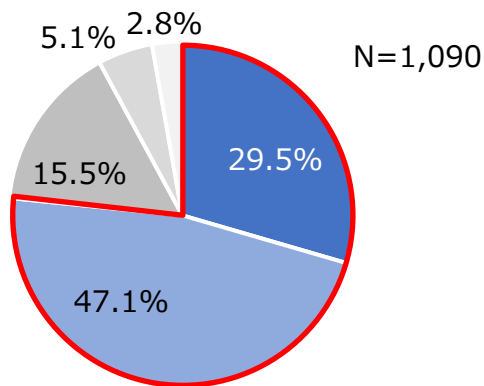
一方で、働き方の多様化が進む中で、労働者には兼業・副業のニーズが高まっており、兼業・副業を実施している労働者及び実施意向のある労働者に絞ると、地方での副業への関心が76%と非常に高い値となっています。大都市圏に偏在するデジタル人材を地方中小企業で雇用することはハードルが高いですが、副業というライトな就業形態であれば、両者のマッチングが成立する可能性が高いと考えられます。

兼業・副業の実施状況と意向



- 兼業・副業実施中
- 今後の意向あり／過去に兼業・副業経験あり
- 今後の意向あり／過去に兼業・副業経験なし
- 今後の意向なし／過去に兼業・副業経験あり
- 今後の意向なし／過去に兼業・副業経験なし

地方での副業に対する興味



- 非常に興味がある
- 興味がある
- どちらともいえない
- 興味がない

[兼業・副業実施中 + 実施意向あり]のみ抽出

出典：リクルートキャリア「兼業・副業に関する動向調査」(2020)

出典：リクルートキャリア「兼業・副業に関する動向調査」(2020)

# 1-3.関係人口による地域中小企業のデジタル化支援の意義

経済産業省では、令和2年度に高度デジタル人材を地域に派遣し地域中小企業とマッチングを行い、地域課題解決に資するプロトタイプを作成する「L-Creator's Bridge」という実証プログラムを実施しました。実証の示唆の一つは、地域への愛着が高度デジタル人材のモチベーションに好影響を与えることでした。

以上のことから、地域中小企業のデジタル化支援においては、関係人口として地域と関わりを持つ高度デジタル人材をマッチングする施策が有効と考え、令和3年度に「ふるさとCo-LEADプログラム」を実施しました。

## 地方での副業をする高度デジタル人材のモチベーション要因

プログラムへの参加を決定した第一のモチベーションを選んでください。

11件の回答

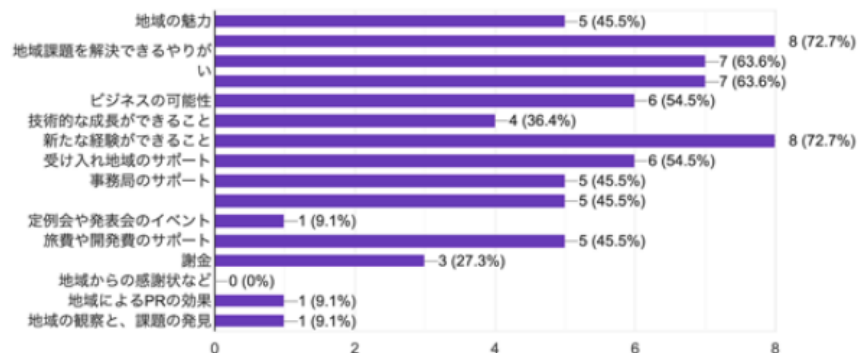


出典：経済産業省「令和2年度戦略的基盤技術高度化・連携支援事業（中小企業のA I活用促進に関する調査事業）調査報告書」(2021)

## 地方での副業をする高度デジタル人材のモチベーション要因

プロトタイプ制作の期間を通して、モチベーションを向上させた要素をすべて選んでください。

11件の回答



出典：経済産業省「令和2年度戦略的基盤技術高度化・連携支援事業（中小企業のA I活用促進に関する調査事業）調査報告書」(2021)

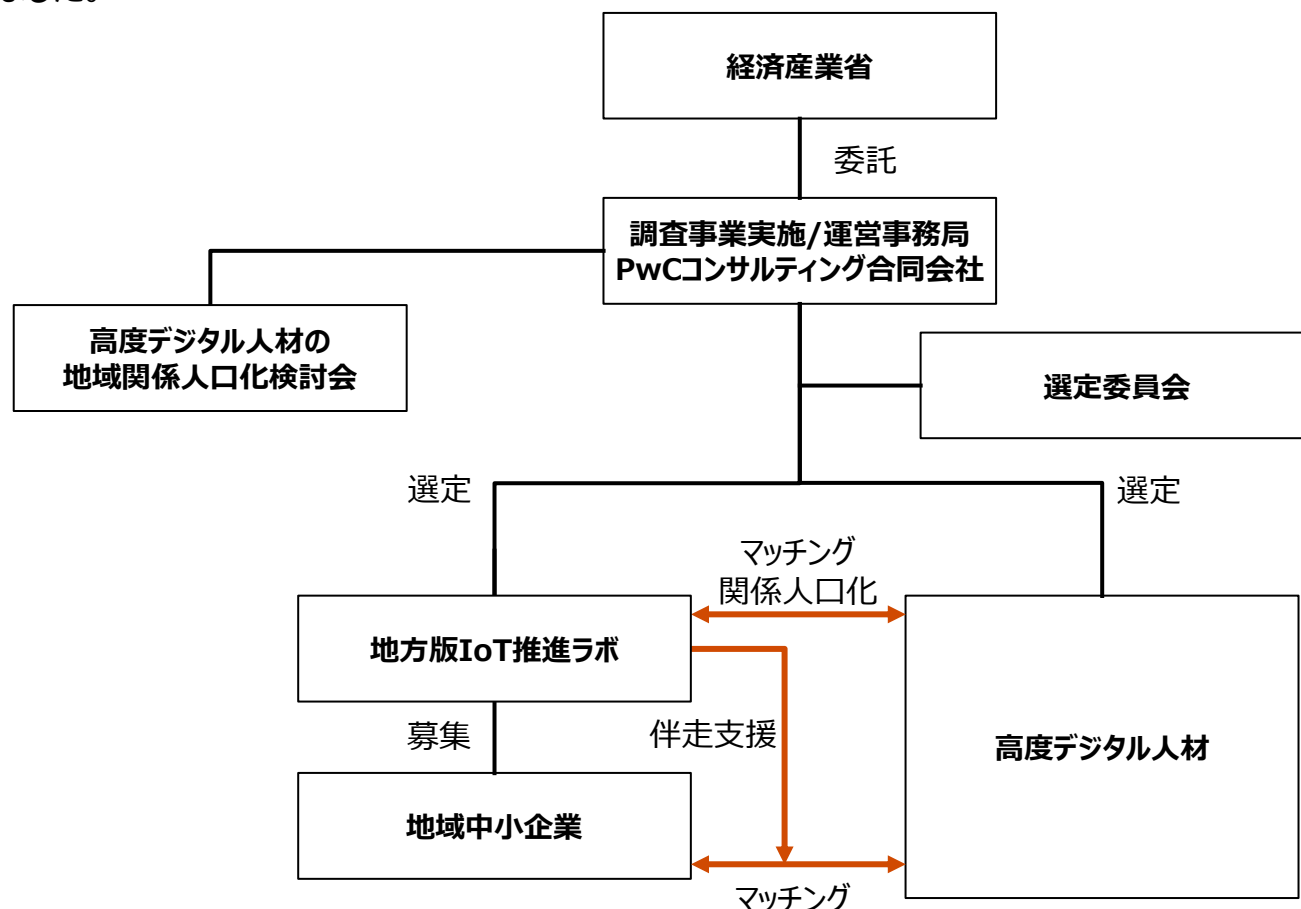
## 2.「ふるさとCo-LEADプログラム」の概要



## 2-1.「ふるさとCo-LEADプログラム」の実施体制

実施体制は、PwCコンサルティング合同会社を事務局とするが、プログラム中は主に地方版IoT推進ラボと高度デジタル人材が主体となり、相互に連携、支援を行いながら取組を進める体制としました。

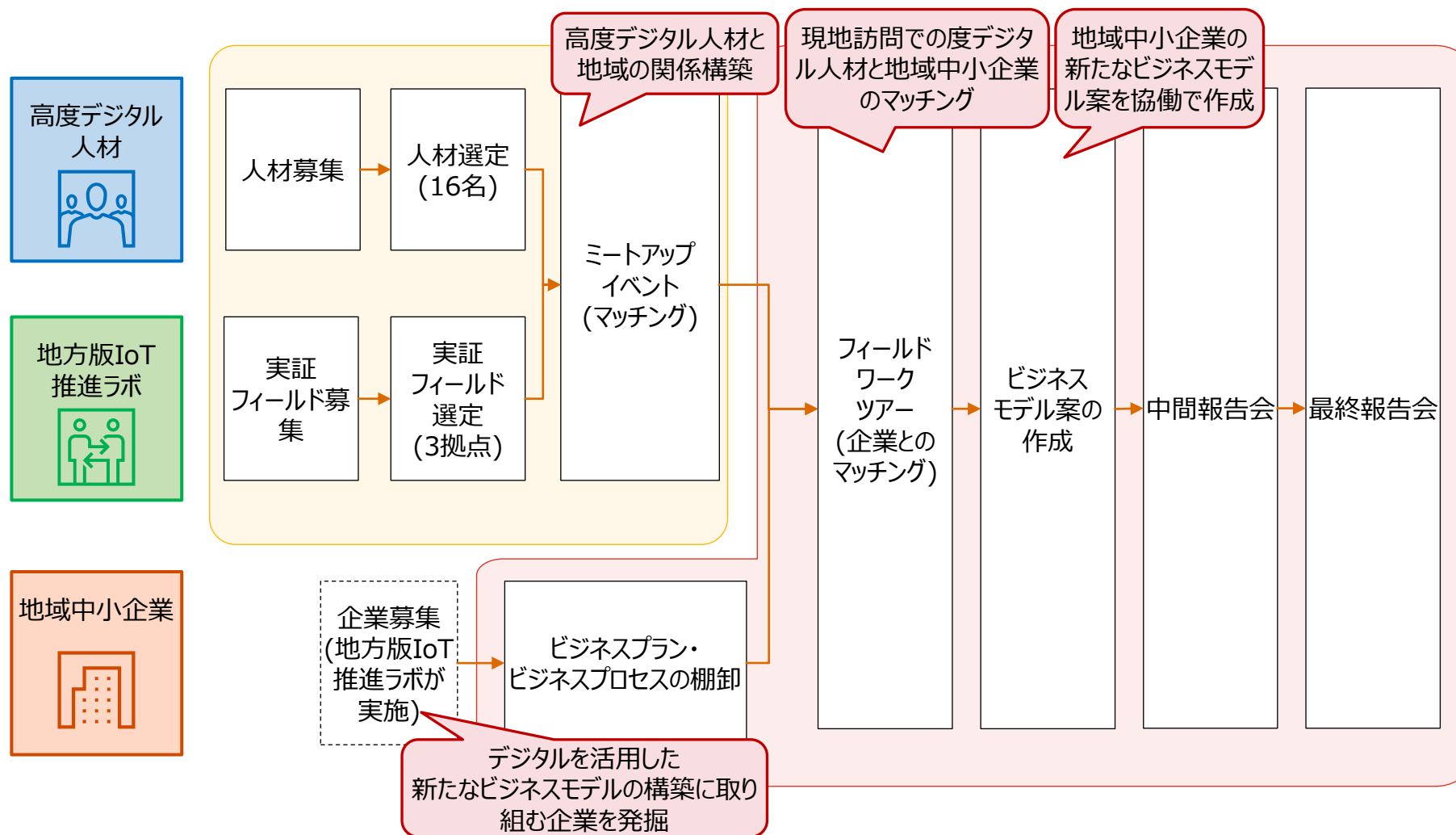
また、地方版IoT推進ラボは高度デジタルと地域中小企業との間を取り持つ役割として、普段のコミュニケーションや打ち合わせ日程等の調整を行いました。高度デジタル人材と地域中小企業はそれぞれが主体性を持って取組を進めることができるよう、同等の立場として位置付けました。検討会には人材マッチング企業や、人材を送り出す側の企業及び機関、「ふるさとCo-LEADプログラム」で高度デジタル人材を受け入れた3地域の地方版IoT推進ラボなど、多分野の有識者の皆様に委員に御就任いただきました。



地域中小企業の新たなビジネスモデル案の作成

## 2-2.「ふるさとCo-LEADプログラム」の全体像

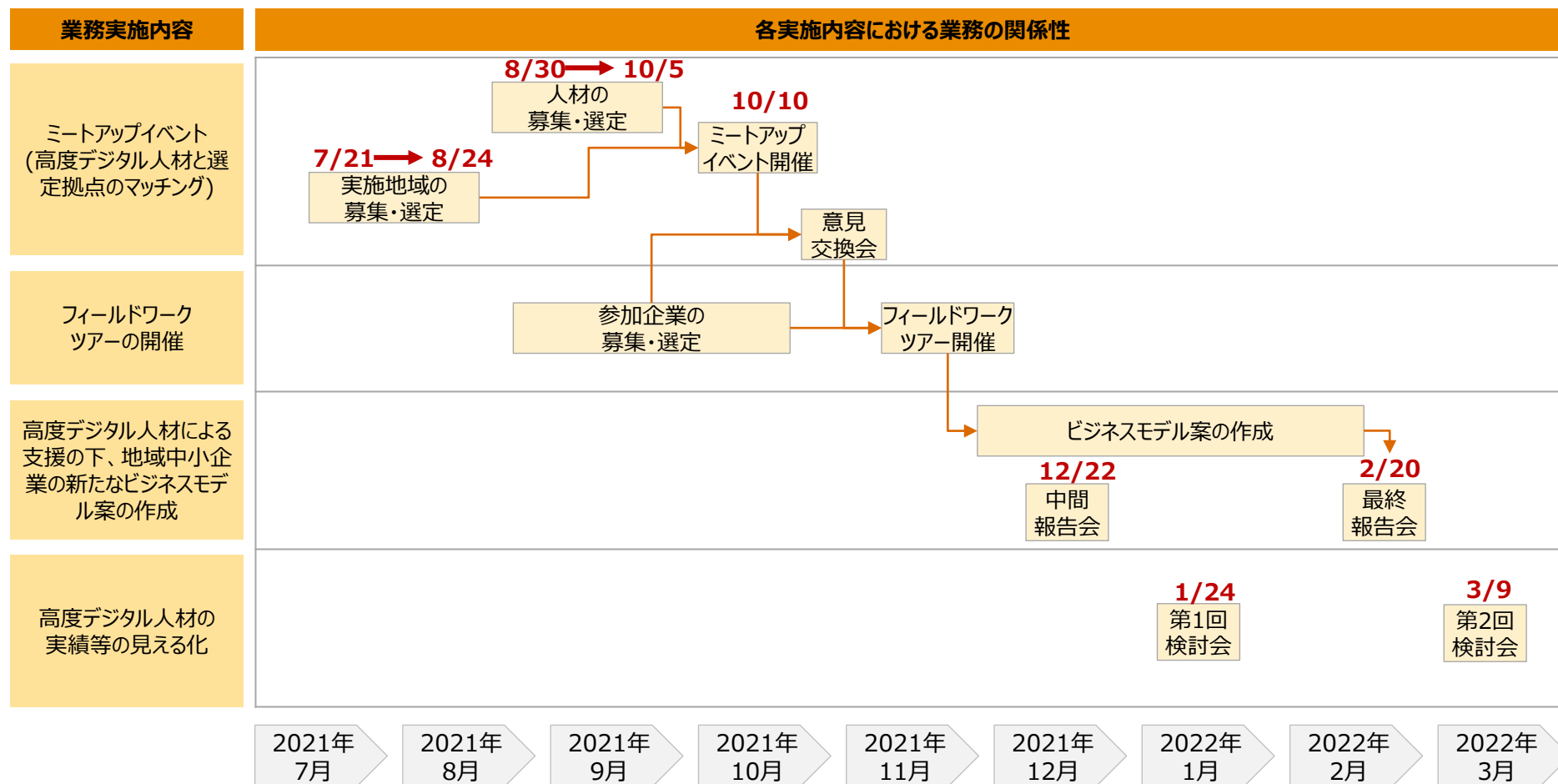
「ふるさとCo-LEADプログラム」は、地域中小企業と高度デジタル人材の出会いの場（ミートアップイベント）を創出し、関係人口化を図った上で、現地視察（フィールドワークツアー）を行い、地域中小企業と高度デジタル人材がデジタル技術を活用した新たなビジネスモデル案の作成を協働で行うプログラムとして実施しました。



## 2-3.「ふるさとCo-LEADプログラム」の実施スケジュール

まず、地域の選定を行い、次に高度デジタル人材の選定を行うことで、高度デジタル人材は「ふるさとCo-LEADプログラム」を実施する地域の情報を踏まえて参加することができ、地域は人材の募集・選定期間中に参加企業を募集・選定し、スムーズなプログラムの進行ができるようにしました。ビジネスモデル案作成期間は最終報告会まで約3か月の期間を確保し、その期間中には中間報告会や、各地域での定例会等を実施し、進捗状況を共有しながらプログラムを進めました。

また、ビジネスモデル案の作成期間と並行して検討会を開催することで、リアルタイムで得られた高度デジタル人材や地方版IoT推進ラボの意見等を交えながら議論を行い、「ふるさとCo-LEADプログラム」のエコシステム化について検討しました。



### 3.「ふるさとCo-LEADプログラム」の実施内容

# 3-1.実証フィールド選定基準

実証フィールドは、次年度以降自走化して継続的に取り組める地域及び他地域のモデルとなる地域を選定することを目的に、審査の観点として「参加者にとって魅力のある地域か」、「フィールドワークツアーを実施するためのリソースを有しているか」、「自走化できるか」、「モデル地域として発信力を持っているか」の4つの観点から審査項目を設定し、申請書に基づき選定しました。

	審査の観点	審査項目	申請書項目
1	参加者にとって魅力のある地域か	地域のPRポイントがあるか	地域のファンになってもらうためのPRポイントを教えてください。
		参加者へのインセンティブがあるか	フィールドワークを実施する上で、首都圏では実現できないような体験価値を教えてください（活用できるデータ、活動拠点施設など）
		社会的インパクトのある課題があるか	地方版IoT推進ラボで取り扱っている地域課題（特に地場産業に関する課題）を教えてください
2	フィールドワークツアーを実施するためのリソースを有しているか	参加者の受け入れに係る環境は整備されているか	滞在先として想定する施設、アattendする団体、受け入れに係る自治体の助成制度など、スムーズな受け入れを可能にする取組があれば教えてください。
		フィールドワークツアーの拠点会場は確保できるか	拠点会場は利便性が高い場所に立地されていますか。公共交通機関を使用した場合のアクセスを教えてください。また、拠点会場のネットワーク環境や収容人数を教えてください。
		フィールドワークツアーの実施にあたり連携する企業を確保できるか	デジタル技術を活用した新たなビジネスモデルの検討に着手している又は検討を予定している地域中小企業を教えてください（例：DX推進指標を用いた自己診断を実施している企業など）
		伴走支援体制ができるか	ビジネスプラン作成にあたり、地域課題や経営課題解決の知見や地域企業とのネットワークを有するキーマンの紹介等、伴走支援はできますか。できる場合、伴走支援体制を教えてください（中心人物、支援メニューなど）
	企業と参加者の連携を支援するステークホルダーがいるか	企業と参加者の連携を支援する自治体、大学、金融機関、地元の商工会議所などがあれば教えてください。	
3	自走化できるか	過去の実績はあるか	過去に外部のデジタル人材を招聘し、地域課題や地域中小企業が抱える課題の解決に取り組んだ実績があれば教えてください。
		継続して取組を続けられるか	今回応募する理由を今後の展開を踏まえて教えてください（今後独自に計画しているミーティングやイベントやフィールドワークツアーの内容など）。
4	モデル地域として発信力を持っているか	地域内外への波及可能性が考えられるか	地元メディアやSNS等を通じた、本取組のPRを考えていければ教えてください

## 3-2.実証フィールドごとの高度デジタル人材への期待と役割の設定

全国に105拠点ある地方版IoT推進ラボを対象に「ふるさとCo-LEADプログラム」の説明会を行い、実証フィールドを公募・選定した結果、北海道北見市、三重県桑名市、沖縄県の3地域が実証フィールドとして決定しました。

	北海道北見市	三重県桑名市	沖縄県
地域の課題	北見市は第1次産業が基幹産業であり、産出額が高水準で維持されている一方、就業人口が年々減少しているため、GPSや産業用ロボット等の工学的支援へのニーズが高まっています。また、厳しい自然環境から生活インフラの効率的な維持管理などが課題となっています。	桑名市は、3月24日に「ゼロカーボンシティ宣言」を発出し、DX・IoT・AIなどのデジタル技術を活用して、2050年ゼロカーボンシティの実現を目指していますが、グリーン化推進のために必要とされる、デジタル化へ対応できる人材の不足が顕在化しています。	新型コロナウイルス感染症の世界的流行で国内外の移動が制限されたことにより観光客が大幅に減少し、宿泊施設や小売店の他、インバウンドの誘客に貢献してきた大型クルーズ船舶会社等、観光関連事業者は大きなダメージを受けております。
プログラムへの期待	フィールドワークツアーでは、地域特性を活かした事業を行っている地元中小企業への視察訪問を通じて、ICTの活用による地域課題の解決に向けたマッチング支援を行います。特に、「産学官連携による新分野での産業化」、「第一次産業の業務効率化」、「実証フィールドの活用による人材集積」の分野において、高度デジタル人材の方々との連携を期待しています。  北海道北見市「食&観光」ガイド オフィシャルWEBサイト <a href="https://kitami-mylove.jp/photo_library/496.html">https://kitami-mylove.jp/photo_library/496.html</a>	フィールドワークツアーでは、高度デジタル人材の方々、桑名市を実証実験のフィールドとして、知識やスキル、アイデアを発揮できるように支援体制を整えるとともに、その能力を伸ばしていただけるよう環境整備を図ります。特に、「個別企業の課題解決」「地域の魅力発信強化」「グリーン化」の分野において、デジタルを活用した新たなビジネスモデル作成に期待しています。  快適な暮らしを次世代にもつづけるまろ 市公式HPより <a href="http://www.city.kuwana.lg.jp/index.cfm/1.html">http://www.city.kuwana.lg.jp/index.cfm/1.html</a>	本プログラムでは、各事業者がポストコロナを見据え、デジタルを活用した業務の効率化や新たなビジネスモデルの検討などが図られるよう、観光関連産業のさらなる活性化とDXの促進に向けた支援を期待しております。  国営沖縄記念公園(海洋博公園)・エメラルドビーチ <a href="https://www.okinawastory.jp/spot/1111">https://www.okinawastory.jp/spot/1111</a>

### 3-3.参加者選定基準

地域の関係人口として地域と継続的な関係性を築くことができ、地域中小企業と協働でプロジェクト推進ができる高度デジタル人材を選定するために、「個人のスキルや実績等」、「地域のデジタル活用に関する理解」、「本事業への期待」の3つの観点から審査項目を設定し、申請書に基づき審査を行いました。

	審査の観点	審査項目	申請書項目	審査項目との対応
1	個人のスキルや実績等	①ビジネスにおけるデジタル活用に関する知識、経験を保有しているか	あなたが「ふるさとCo-Lead」に参加してみようと思った動機に関心のある地域課題や、「ふるさとCo-Lead」の経験を今後どのように生かそうと思っているかを踏まえて教えてください	②、⑥、⑧
		②選定地域の課題と個人の関心が適合するか		
		③ビジネスに必要とされる対人スキル、問題発見力・課題解決力があるか		
		④「高度デジタル人材」の人材像にあてはまるか		
2	地域のデジタル活用に関する理解	⑤過去の実績があるか	「ふるさとCo-Lead」に活かせると思うあなたのこれまでの経験について、取り組んだテーマやご自身の役割、巻き込んだステークホルダーを踏まえて教えてください	①、③、④ ⑤、⑦
		⑥地域課題への取り組みに関心があるか		
		⑦自身のデジタルスキルと地域課題を絡めて解決案を提案することができるか		
3	本事業への期待	⑧本事業に目的意識を持って参加しているか	その他PRがあれば教えてください	③、④、⑤

## 3-4.ミートアップイベントの開催概要

ミートアップイベントは高度デジタル人材と地域がお互いを理解し、高度デジタル人材が地域の関係人口となるきっかけをつくることを目的に実施し、ミートアップイベント後に、高度デジタル人材と地域の双方に配属の希望を確認し、マッチングを行いました。開催にあたっては、高度デジタル人材が参加しやすさを考慮し、日曜日にオンラインにて開催しました。

開催目的

地域に根差した中小企業の課題の解決に向けて地域と高度デジタル人材が協働するには、高度デジタル人材が地域の関係人口となることが重要であるため、高度デジタル人材の地域の関係人口化を目的として開催しました。

開催日時

2021年10月10日(日) 13:00-16:30 ※デジタルの日  
企業等に勤務する高度デジタル人材の参加しやすさを考慮し、日曜日に開催しました。

開催形式

オンラインでの開催とし、開催にあたってはバーチャルオフィスツール「Ovice」を使用した。「Ovice」は全員が1つのバーチャル空間上でアバターを操作し、話したい人に近づいて話しかけることや、会議室を使用して会議を行う等、現実空間をオンラインで再現することができ、円滑にコミュニケーションを図れるため、開催ツールとして選択しました。





## 3-5.ミートアップイベントのプログラム内容

地域と高度デジタル人材の相互理解を図るために、プログラムは一方向的なプレゼンテーションだけではなく、双方向で意見交換ができるように、ラウンドテーブル形式で高度デジタル人材が3地域と意見交換ができるようにしました。

地域と高度デジタル人材の相互理解を図ることが目的であるため、各地域紹介のプレゼンテーションに加えて、高度デジタル人材を5名程度にグルーピングし、各地域の担当者や地域中小企業の担当者や地域課題や企業課題について意見交換を行うラウンドテーブルをプログラムの柱に据えると共に、懇親会を開催しました。  
また、オンラインでは高度デジタル人材の人柄が伝わりづらいため、事前に自己紹介シートを作成・配布し、コミュニケーションツールとして活用しました。

### プログラム内容

プログラム	
開始時刻	アジェンダ
13:00～13:05	経済産業省ご挨拶
13:05～13:20	事務局からの事業趣旨等の説明
13:20～14:05	各地方版IoT推進ラボからの地域紹介
14:05～14:10	休憩
14:10～14:40	ラウンドテーブル①
14:40～15:10	ラウンドテーブル②
15:10～15:40	ラウンドテーブル③
15:40～15:45	休憩
15:45～16:15	懇親会
16:15～16:30	ラップアップ、事務連絡
16:30～	自由懇親会（任意参加）

### 自己紹介シートのひな形

#### 名前

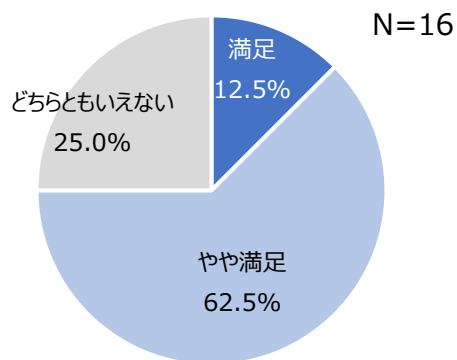
#出身地, #XXX, #XXX, #XXXXXX  
※好きなスポーツチームやご自身のSNSアカウントなど自由にタグをつけてください

ご自身をあらわす写真 (複数枚可)	主な経歴	現在の所属企業/団体名、役職名をご記入ください
	好きな言葉	
	好きな場所	
	最近働いたこと	
	最近感動したこと	
	趣味	
強み (得意分野)	以下について簡潔に教えてください ・ 企画から実装までの段階に経験・関心があるか ・ デジタルスキルの強み・得意分野と、スキルを活用してできること（例：顧客の問合せメールを基にしたチャットボットの導入）	
意気込み	本事業への意気込みを、参加動機を含めてご記入ください	

## 3-6.ミートアップイベントの結果 I

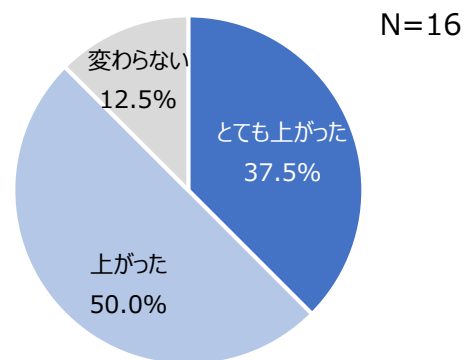
高度デジタル人材のミートアップイベントへの満足度は75%がポジティブな回答をしており、約9割が参加前と比べるとモチベーションが上がったと回答しています。また、モチベーションが変化した要因としてはラウンドテーブル、地域のプレゼンテーション、懇親会における地域の担当者との交流が高いスコアとなりました。

### ミートアップイベントの満足度



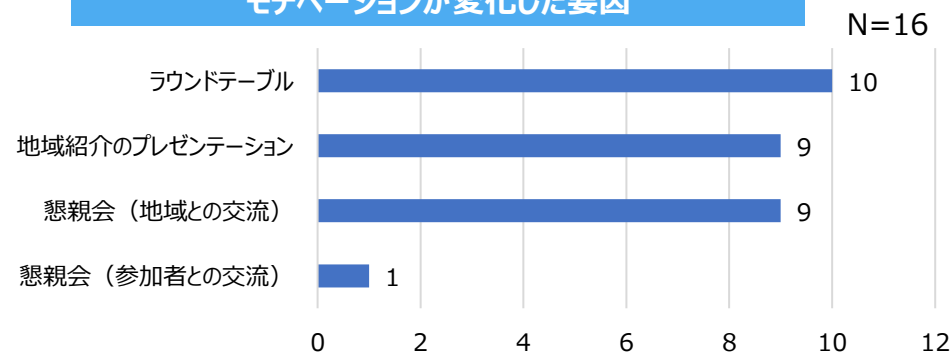
■ 満足 ■ やや満足 ■ どちらともいえない ■ やや不満足 ■ 不満足

### ミートアップイベントによるモチベーションの変化



■ とても上がった ■ 上がった ■ 変わらない ■ 下がった ■ とても下がった

### モチベーションが変化した要因



## 3-6.ミートアップイベントの結果Ⅱ

地域の関係人口として地域と継続的な関係性を築くことができ、地域中小企業と協働でプロジェクト推進ができる高度デジタル人材を選定するために、「個人のスキルや実績等」、「地域のデジタル活用に関する理解」、「本事業への期待」の3つの観点から審査項目を設定し、申請書に基づき審査を行いました。

### 【良かった点】

- 冒頭の経産省の方のスピーチ
- 懇親会での実りがあった
- 課題がよく見えた
- 各地域のプレゼンテーションが良かった
- 各地域の担当者と意見交換ができた
- 地域との交流が参加地域を決定する上で参考になった
- 社外の方等とフラットに会話でき、新しい交流が生まれた
- 地方の事業会社の方と課題解決について、浅くとも会話できた。普段味わえない刺激を得られたのでよかった
- プログラム内容が充実していた
- oVice は参加者同士の親近感、臨場感を感じられ良かった
- 各自治体の取り組みに対する真剣な姿勢に感銘を受けた

### 【改善点】

- ラウンドテーブルで自分や場が何をもとめられているか分からない
- ある程度地域の課題対象と求められる事項が事前に分かっているとうまいマッチングができにくいのではないかと
- 地域がこれまでやった施策やその効果、課題を具体化したものを先にインプットできているとより議論が活性化するのではないかと思いました。
- プレゼンで発表者の表情が見たい
- 熱が入って時間を忘れてしまった
- 時間が短かった
- 地域全体の課題解決かと思っていたが、個別企業とのマッチングでイメージと違った
- Oviceの操作性が手ごわかった
- 時間配分やタイムマネジメント
- BGM を流してほしい
- ファシリテートはもう少し軽いノリでもいい

# 3-7.地域中小企業の募集 I -北見市

プログラムに参加する地域中小企業は、地方版IoT推進ラボがデジタルを活用した新たなビジネスモデル案を高度デジタル人材と協働で検討できる環境の整った企業を選定しました。

## KUWABARA

桑原グループ	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>桑原電工</b> 電気設備・昇降機設備等の電気に関わる工事</li> <li>・<b>桑原冷熱</b> 食品の低温貯蔵庫、冷蔵冷凍ショーケース、製氷プラント構築</li> <li>・<b>桑原電装</b> 自動車電装部品から産業用ドローンに至るまで、幅広い電装部品のメンテナンス・販売</li> </ul>
従業員数	208名
特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業用ドローンを開発し、主に農薬散布用として道内でも有効の納品数を誇っている。</li> <li>・優れたドローンについては、持ち込みによりメンテナンス対応も自社で担っている。</li> </ul>



桑原電工 桑原冷熱 桑原電装

## 環境大善

株式会社環境大善	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>消臭剤「きえ〜る」等の製造・販売</b> 牛のし尿を微生物発酵させた「善玉活性水」を活用した消臭剤「きえ〜る」、液体たい肥「土いさかえる」等の製品を製造・販売</li> <li>・<b>土・水・空気研究所</b> 微生物発酵を利用した、人・動物・植物に関わる環境改善を主軸とした研究開発の実施</li> </ul>
従業員数	19名
特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物である牛のし尿を材料に、消臭液や土壌改良剤といった付加価値を付けた製品化を行い、地球に戻すという「アップサイクル型循環システム」を提唱している。</li> <li>・北見工業大学・帯広畜産大学との産学連携による基礎研究を実施している。</li> </ul>



## AC 株式会社エース・クリーン

株式会社エース・クリーン	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>ごみ収集事業</b> 北見市内の多種多様なごみの回収を担当</li> <li>・<b>清掃事業</b> 上下水道関連施設等の清掃を担当</li> <li>・<b>産業廃棄物処分事業</b> 産業廃棄物中間処理施設の運営を担当</li> <li>・<b>飼料事業</b> 木質蒸煮飼料「キャトルエース」の製造・販売</li> </ul>
従業員数	66名
特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな企業や団体等の協力を得て研究・実証実験を重ね、北見市近郊のシラカバを原料とする牛用飼料「キャトルエース」を開発。</li> <li>・飼料事業が評価され、経済産業局より「地域経済牽引計画」の認証を受けている。</li> </ul>

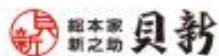


エゾシカ対策チーム	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>多様な農作物の栽培</b> 60ヘクタールの広大な畑で多品種の農作物を栽培</li> <li>・<b>ハンターとしての害獣駆除</b> 猟友会に所属し、近隣の害獣駆除を定期的の実施</li> </ul>
従業員数	4名
特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣で多発している害獣被害の対策として、自身の畑で害獣の糞を自作し、害獣被害削減に取り組んでいる。</li> </ul>



## 3-7.地域中小企業の募集Ⅱ-桑名市

プログラムに参加する地域中小企業は、地方版IoT推進ラボがデジタルを活用した新たなビジネスモデル案を高度デジタル人材と協働で検討できる環境の整った企業を選定しました。



株式会社総本家新之助貝新

事業概要

- ・ **しぐれ煮の製造・販売**  
独自の製法で桑名市の特産品であるしぐれ煮を製造。また、百貨店、カタログ、ネットにて販売を行う。

従業員数

40名

特長

- ・ ルーツは江戸時代まで遡るほど昔から親しまれているブランドである。
- ・ 百貨店等での顧客とのコミュニケーションを重視した対面販売に強みを持ち、リピーター顧客を有する。
- ・ 量り売り、詰め合わせのセット販売、半品販売の3種類の方法で販売を行う。



三重精機株式会社

事業概要

- ・ **精密部品の製造、販売**  
主に自動車に使用されるABS、パワステ、燃料噴射、ミッション関連部品や半導体設備関連向けの部品製造を行う。

従業員数

319名

特長

- ・ 創業初期は、懐中時計部品の製造をしており、小さくて高精度な部品加工に強みを有す。
- ・ 自動車業界との強固なリレーションを持ち、独自の加工技術を開発している。



長島観光開発株式会社

事業概要

- ・ **遊園地事業**  
国内有数の絶叫マシンを有する「ナガシマスパーランド」を運営
- ・ **花と食のテーマパーク**  
四季を通じて美しい花を觀賞できる植物園「なばなの里」や、園内のレストランを運営
- ・ **その他レジャー事業**  
温泉事業(湯あみの島)、ホテル事業(ホテル花水木、ホテルナガシマ等)を運営

従業員数

2,000名

特長

- ・ 国内有数のレジャー施設であり、中部・関西エリアでの知名度が高い。
- ・ 施設利用の組合せにより顧客のニーズに合わせたサービスの提供が可能。



# 3-7.地域中小企業の募集Ⅲ-沖縄県

プログラムに参加する地域中小企業は、地方版IoT推進ラボがデジタルを活用した新たなビジネスモデル案を高度デジタル人材と協働で検討できる環境の整った企業を選定しました。

有限会社  
沖縄シブスエージェンシー

有限会社沖縄シブスエージェンシー	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>クルーズ客船に対する船舶代理店業務 国内外のクルーズ船の入出港に必要な諸手続きや交渉の代行。主に岸壁予約や大型船の入港調整、入港諸費用の支払いを行う。</li> </ul>
従業員数	15名
特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄のすべての港における入出港手続きをカバーしている。</li> <li>クルーズ船寄港の際に岸壁付近から陸上交通のターミナルまで旅客を輸送するため、独自の取組として電気バスを導入。</li> </ul>



Bios 自然の森で遊ぶ、学ぶ  
ビオスの丘

有限会社らんの里沖縄（ビオスの丘）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然植物園「ビオスの丘」の運営 自然に浸りながら、体を使った遊びやカヌー・水牛車などで園内探索、動植物との触れ合いなどを楽しむことができる「ビオスの丘」を運営</li> </ul>
従業員数	50名程度
特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>入園料と園内の観賞舟のチケットのセット販売が売上げの多くを占める。</li> <li>一般の個人客の来客が多い。</li> <li>小さな子供から大人、お年寄りまで全ての世代のお客が楽しめる施設を提供する。</li> </ul>



国際旅行社 うちなーんちゅの旅窓



株式会社国際旅行社	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>受注企画型旅行事業 お客様の要望・目的を聞き、プランを提案し作成する旅行を運営</li> <li>募集企画型旅行事業 パッケージ旅行・一般募集ツアーなどの旅行を運営</li> <li>団体・個人手配旅行事業 お客様の希望の交通機関・施設の手配を行う旅行を運営</li> </ul>
従業員数	26名
特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>半世紀以上の沖縄県民への旅行のサポートで培ったノウハウをもつ。</li> <li>主に沖縄県民を県外あるいは海外に送客する。団体客・法人が7割、一般客が3割である。</li> <li>現地ガイドを起用したオンラインツアーを開催している。</li> </ul>



## 3-8.フィールドワークツアーの概要

フィールドワークツアーでは、高度デジタル人材が2泊3日で現地を訪問し、地域中小企業との意見交換や地域の観光地等を訪問し、地域の魅力や課題を体感し、地域との関係性を深めた上で、支援する地域中小企業とのマッチングを行いました。フィールドワークツアーにおける、地域と事務局の役割は下記のように整理し、実施しました。

開催目的	<p>ミートアップイベントで地域と関係性を構築した高度デジタル人材が現地を訪問し、地域の魅力や課題について深く知った上で、支援する地域中小企業とのマッチングを行うことを目的に、2泊3日で実施しました。</p>
------	--

		事前準備	1日目	2日目	3日目
		事前準備	現状把握	課題設定	プロジェクト設計
当日の流れ			<ul style="list-style-type: none"> <li>地域企業および自治体等のステークホルダーへの現地視察、ヒアリングを実施し、地域の実情について高度デジタル人材が現状把握する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状把握をもとに、高度デジタル人材が有するスキル・ソリューションをもって解決できる課題を検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業課題解決に向けたアイデアのプレゼンテーション地域企業のニーズと合致した場合は、マッチング成立とする</li> </ul>
役割別の実施事項	 <p>地方版IoT 推進ロボ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3日間のスケジュール検討</li> <li>当日の移動手段の準備</li> <li>当日の拠点会場の準備</li> <li>プレゼンテーションに参加する機関への連絡、調整</li> <li>地域中小企業との窓口</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問先の地域中小企業との連絡窓口、取次</li> <li>当日の視察の案内</li> <li>視察の際の移動手段の手配、移動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソリューションの検討の際、高度デジタル人材の要望に応じて適宜意見交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域中小企業側と高度デジタル人材側の意見調整</li> <li>マッチングのための地域中小企業とのつなぎ役</li> </ul>
	 <p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度デジタル人材と地域中小企業の日程調整</li> <li>地方版IoT推進ロボ及び高度デジタル人材からの問い合わせ対応</li> <li>オンラインでのコミュニケーションの場の準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>拠点会場の設営</li> <li>地域中小企業と高度デジタル人材の意見交換の場でのファシリテート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>拠点会場の設営</li> <li>進捗状況の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>拠点会場の設営</li> <li>当日の発表会、意見交換の際のファシリテート</li> </ul>

# 3-9.フィールドワークツアーのプログラム内容 I -北見市

北見市では、初日にオリエンテーションとして地域の現状や地域としてどのような姿を目指しているのか説明いただいた上で、合計5社の訪問を行い、最終日にそれぞれの高度デジタル人材が関心を持ったテーマや支援したい地域中小企業の課題について発表を行いました。

開催日程	2021年11月16日(火)–2021年11月18日(木)		
	1日目	2日目	3日目
AM		企業訪問②：桑原グループ	企業訪問⑤：大規模農家
PM	オリエンテーション 企業訪問①：環境大善	企業訪問③：エースクリーン 地元施設見学：北見カーリングホール 企業訪問④：グリーンズ北見	企業への提案に向けた発表



サテライトオフィス北見でのオリエンテーション



桑原電工の産業用ドローン



農場にある仕掛け罫



環境大善の生産施設



エースクリーンの生産施設



北見カーリングホール



# 3-9.フィールドワークツアーのプログラム内容Ⅱ-桑名市

桑名市では、地域のキーマンとして活躍する方から高度デジタル人材への期待等をオリエンテーションでメッセージをいただき、合計5社との意見交換を行ったうえで、最終日に地域中小企業に対して、支援プラン等のプレゼンテーションを行いました。

開催日程	2021年11月25日(木)–2021年11月27日(土)		
------	-------------------------------	--	--

	1日目	2日目	3日目
AM		企業訪問②：三重精機 地元施設見学：はまぐりプラザ	企業訪問⑤：長島観光
PM	オリエンテーション 企業訪問①：総本家新之助貝新 地元施設見学：桑名市博物館 意見交換：歌行燈、大洋産業	企業訪問③：大洋産業 デジタル人材でのディスカッション 企業訪問④：長島観光（はなばの里） 意見交換：全社	企業訪問⑥：歌行燈 市長との意見交換 地元施設見学：七理の渡し、六華苑 企業への提案



桑名シティホテルでのオリエンテーション



大洋産業の生産現場



六華苑の見学



総本家新之助貝新の店舗



桑名シティホテルでのディスカッション



桑名シティホテルでの企業への提案

# 3-9.フィールドワークツアーのプログラム内容Ⅲ-沖縄県

沖縄県では、合計3社と地域中小企業との意見交換を行い、企業の課題等について情報収集した上で、高度デジタル人材のディスカッションの時間を多く設け、最終日に地域中小企業へのプレゼンテーションを実施しました。

開催日程	2021年11月25日(木)–2021年11月27日(土)	
------	-------------------------------	--

	1日目	2日目	3日目
AM	企業訪問①：シップスエージェンシー	企業説明：国際旅行社	デジタル人材でのディスカッション
PM	企業訪問②：ビオスの丘	企業説明：国際旅行社 デジタル人材でのディスカッション	企業への提案



シップスエージェンシーのEVバス



国際旅行社のオンラインツアー体験



沖縄県庁でのディスカッション



ビオスの丘の施設見学



国際旅行社との意見交換

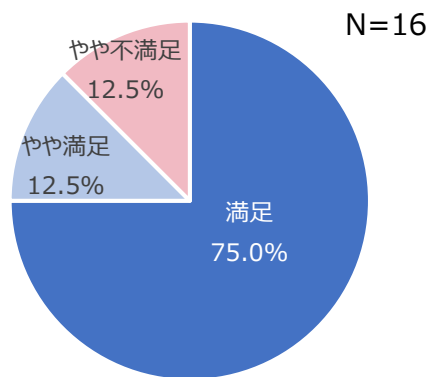


沖縄県庁での企業への提案

### 3-10.フィールドワークツアーの結果

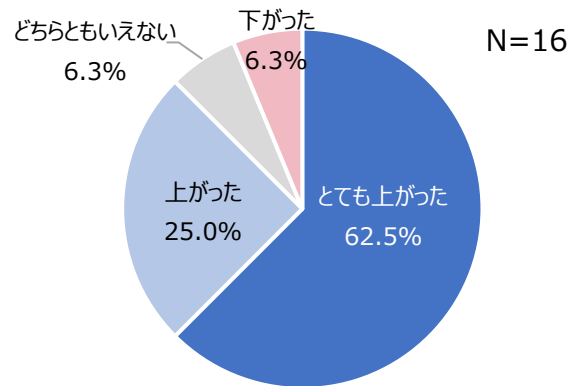
高度デジタル人材の9割がフィールドワークツアーの内容に満足しており、フィールドワークツアー参加前と比較するとモチベーションが向上したと回答しました。モチベーションが変化した要因としては、現地での地域中小企業との意見交換が最も高く、次いで現地での地方版IoT推進ラボとの意見交換会があげられました。

#### フィールドワークツアーの満足度



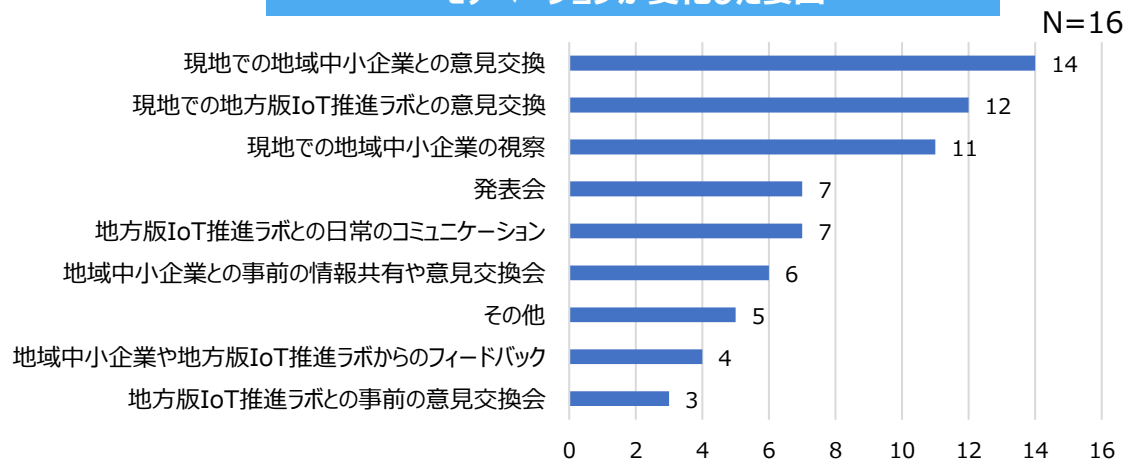
■ 満足 ■ やや満足 ■ どちらともいえない ■ やや不満足 ■ 不満足

#### フィールドワークツアーによるモチベーションの変化



■ とても上がった ■ 上がった ■ どちらともいえない ■ 下がった ■ とても下がった

#### モチベーションが変化した要因



# 3-11.中間報告会の開催

3地域で実施したフィールドワークツアーの実施内容と今後のプロジェクトの方向性について共有することを目的に、中間報告会をオンラインにて開催しました。

開催目的	3地域で実施したフィールドワークツアーの内容と今後の取組みの方向性について地域を越えて共有、フィードバックを行うことを目的に開催しました。
開催日時	2021年12月22日(水) 18:00-20:00
開催形式	<p>オンラインでの開催とし、開催にあたってはプレゼンテーションが中心となることから、Web会議ツールである「Webex」を使用しました。中間報告会後に開催した懇親会では、ミートアップイベントと同様にバーチャルオフィスツールである「oVice」を使用しました。</p> <div data-bbox="395 701 1054 1072"></div> <div data-bbox="1216 701 1783 1072"></div>

## 3-12.中間報告会のプログラム

中間報告会では、高度デジタル人材からマッチングした企業がどのような課題を抱えていて、どのようなアプローチで新たなビジネスモデル案を作成してくかといったプロジェクトの方向性について発表していただき、各地域の関係者及び有識者との質疑応答でフィードバックとアドバイスをもらいました。

中間報告では3地域に分かれて実施したフィールドワークツアーの内容や個別の地域中小企業の課題等を踏まえて、今後のプロジェクトの方向性などを高度デジタル人材から発表してもらい、質疑応答を行う形式で実施しました。

中間報告会では、外部有識者からのフィードバックをいただくために、各地域IoT推進ラボの担当者に加えて、選定委員にもご参加いただきました。

### プログラム内容

プログラム	
開始時刻	アジェンダ
18:00～18:05	事務局説明
18:05～18:10	経済産業省ご挨拶
18:10～18:20	フィールドワークツアー実施報告
18:20～19:00	北見市の状況報告
19:00～19:25	桑名市の状況報告
19:25～20:00	沖縄県の状況報告

# 3-13.最終報告会の開催

地域の関係人口として地域と継続的な関係性を築くことができ、地域中小企業と協働でプロジェクト推進ができる高度デジタル人材を選定するために、「個人のスキルや実績等」、「地域のデジタル活用に関する理解」、「本事業への期待」の3つの観点から審査項目を設定し、申請書に基づき審査を行いました。

開催目的	3か月にわたるプロジェクトの成果を外部も含めて発信することを目的に最終報告会を開催しました。
開催日時	2022年2月20日(日) 15:00-17:00
開催形式	<p>オンラインでの開催とし、開催にあたってはプレゼンテーションが中心となることから、Web会議ツールである「Webex」を使用しました。最終報告会後に開催した懇親会では、ミートアップイベントと同様にバーチャルオフィスツールである「oVice」を使用しました。</p> <div data-bbox="430 701 1048 1053"></div> <div data-bbox="1114 701 1694 1061"></div>

### 3-14.最終報告会の発表内容 I -北見市

北見市では、地域中小企業 4 社と協働で取り組んだプロジェクトと地域の関係人口拡大を図るためのガイドラインの 5 つ発表を行いました。

地域	地域中小企業	取組概要
北見市	エースクリーン	サプライチェーンにおける「脱炭素貢献度」を科学的指標に基づいて可視化し、ブロックチェーンを用いて貢献度の真正性を担保することで、「Jクレジット」と互換性のある仕組みを構築する。
	環境大善	IoTやAIなどのデジタル技術を導入し、商品開発や生産の効率化を図りながら、大量生産可能な技術の確立、生産工場の横展開、顧客拡大を目指す。
	桑原グループ	3Dプリンタ・ドローン・ロボットを活用した事業創出に向けて、ランドデザインとロードマップ作成を支援。また、6月ローンチ予定のショールームについては、事業創出に向けたショールームの位置づけ、コンセプト作成をプロジェクトチームに伴走する形で支援を行う。
	エゾシカ対策	ドローンやGPSを活用してシカの生態調査を行い、罠を設置して効率的に生体捕獲し、一時飼育することで付加価値を付け、加工、出荷して六次産業化を行う。
	地方版IoT推進ラボ (エコシステム構想チーム)	「世界に誇れる自然と共存した新しい資本主義経済」をビジョンとし、様々なテーマごとに企業や大学等と連携して全体として広く連携するコミュニティを形成するような、自然主義経済エコシステムの構想を練る。

## 3-14.最終報告会の発表内容Ⅱ-桑名市

桑名市では、地域中小企業3社と協働で取り組んだプロジェクトについて発表を行いました。

地域	地域中小企業	取組概要
桑名市	総本家新之助貝新	ナラティブストーリーの作成や、それに基づいたSNS活用やHP・ECサイトの改善、顧客データの収集分析等によりエンゲージメント向上を図ることで、中長期的にファンや支援者を増やす対策を実行する。
	長島観光開発	AIカメラを活用した顧客の属性や動線データの収集、スマートウォッチを利用して従業員の効率度・満足度・疲労度等のデータ収集を行い分析することで、DX化に向けた戦略を練るために現状分析を行う。
	三重精機	技術継承、新規顧客開拓、新規事業開発のそれぞれの課題に対して、動画を活用したマニュアル整備や、技術ナレッジの体系化とデータベース導入、toBマッチングサービスの活用、AI検品システムや安全システム構築に向けた実証実験等を行う。



### 3-14.最終報告会の発表内容Ⅲ-沖縄県

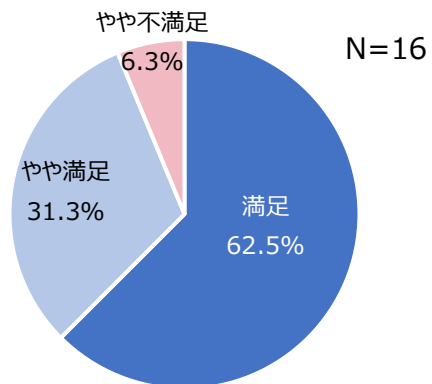
沖縄県では、地域中小企業 2 社と協働で取り組んだプロジェクトについて発表を行いました。

地域	地域中小企業	取組概要
沖縄県	国際旅行社	中華圏顧客獲得のための中華系SNS、サイトや、LINE公式アカウントを立ち上げて不特定多数の顧客への広報等、デジタルマーケティングを活用して、昨今の個人旅行へのシフトやコロナ禍における観光業に適合したビジネス領域拡大を目指す。
	ビオスの丘	世界観を保ちつつ客単価(顧客満足度)を上げるために、口コミデータ等の現状のデータを収集・分析することで満足度向上につながる要素を調査する。 また、来客数予測モデルを構築して従業員の勤務体制の最適化を図る。

### 3-15.「ふるさとCo-LEADプログラム」実施結果

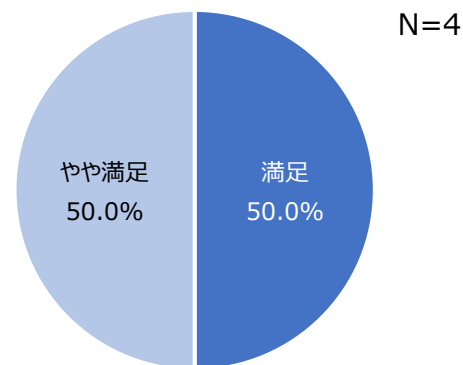
「ふるさとCo-LEADプログラム」に参加した高度デジタル人材、地方版IoT推進ラボ、地域中小企業のプログラムへの満足度は総じて高く、高度デジタル人材を地域の関係人口化し、地域中小企業のデジタル化に取り組む「ふるさとCo-LEADプログラム」は高度デジタル人材、地域中小企業ともに需要が考えられます。

#### 高度デジタル人材の満足度



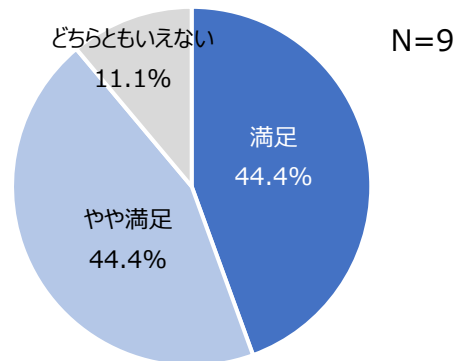
■ 満足 ■ やや満足 ■ どちらともいえない ■ やや不満足 ■ 不満足

#### 地方版IoT推進ラボの満足度



■ 満足 ■ やや満足 ■ どちらともいえない ■ やや不満足 ■ 不満足

#### 地域中小企業の満足度



■ 満足 ■ やや満足 ■ どちらともいえない ■ やや不満足 ■ 不満足